

はじめに

世界有数の大都市東京で展開する東京農業は、新鮮で安全安心な農畜産物を都民に提供するとともに、環境の保全や防災などの多面的な機能を発揮しています。特に、都市に潤いと安らぎを提供する農地の緑は、都民の貴重な財産となっています。

しかし、日本の農業全体を取り巻く環境は、農業者の高齢化などによる担い手不足や、相続に伴う農地の減少、安価な輸入農産物の増加など、依然として厳しい状況にあり、東京農業も例外ではありません。

そうした中、平成27年4月に「都市農業振興基本法」が制定され、都市農業の振興に対する国や地方公共団体の責務等が明記されました。また、昨年5月に閣議決定された「都市農業振興基本計画」では、都市農地を都市に「あるべきもの」と位置付けるなど、都市農業振興に向けた土台が整えられました。これは、東京農業にとっても追い風となるものです。

こうした状況の変化を踏まえ、また3年後に迫った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催とその先を見据え、大都市東京の農業の可能性と潜在力を一層引き出し、東京農業を将来に向け着実に展開していく新たなステップとなる「東京農業振興プラン」を策定しました。

今後、都民の皆様、農業者・農業団体の皆様のご理解、ご協力を得て、本プランの施策を着実に実施することにより、東京農業を都民生活に密着した産業として築き上げ、活力にあふれた持続可能な「スマートシティ」を実現してまいります。

平成29（2017）年5月

東京都知事

小池百合子



東京農業振興プラン目次

序 章	新たな東京農業振興プランの策定に向けて	1
1	新たなプラン策定の目的	1
2	本プランの位置付け	1
第1章	転機を迎える東京農業	3
1	東京農業をめぐる社会情勢の変化	3
	(1) 東京農業を取り巻く状況	3
	(2) 都市農業に関する動き	4
2	東京農業の現状と課題	5
	(1) 東京農業の現状と特色	5
	(2) 東京農業が抱える課題	12
第2章	東京農業の振興の方向と施策展開	14
第1節	農業振興の方向	14
1	目指すべき東京農業の姿	14
2	農業振興の方向と体系	15
第2節	農業振興施策の展開	16
1	担い手の確保・育成と力強い農業経営の展開	16
	(1) 多様な担い手の確保・育成	16
	(2) 意欲ある農業者などの経営力の強化	17
	(3) 施設化や基盤整備などによる生産力の強化	18
2	農地保全と多面的機能の発揮	20
	(1) 農地保全に向けた新たな取組	20
	(2) 農地が有する防災や環境保全機能による都市への貢献	21
	(3) 多様な農作業の体験機会の充実	22
	(4) 都内産の花と植木による都市緑化の推進	22
3	持続可能な農業生産と地産地消の推進	23
	(1) 持続可能な農業生産による農産物の提供	23
	(2) 植物・家畜防疫対策の強化	24
	(3) 都内産農畜産物の地産地消の拡大	25
4	地域の特色を活かした農業の推進	26
	(1) 島しょ地域の振興	26
	(2) 中山間地域の振興	26

(3) 都市周辺地域の振興	27
(4) 都市地域の振興	27
第3章 都市農業・農地に係る制度の改善	28
1 都市農業・農地に関する国の動向	28
2 制度の改善に係る国への要望	28
(1) 貸借された生産緑地に対する相続税納税猶予制度の適用	28
(2) 営農に必要な農業用施設用地などへの相続税納税猶予制度の適用	29
(3) 生産緑地の買取り支援	29
(4) 新たな物納制度の創設	29
第4章 東京農業の振興に向けた連携	30
第5章 東京農業の経営モデル	31
1 経営モデルの設定	31
2 経営モデルの例示	32
(1) 東京の農業をリードする経営モデル（所得目標1,000万円）	32
(2) 地域の農業を担う経営モデル（所得目標600万円）	34
(3) 農業の広がりを支える経営モデル（所得目標300万円）	37
(4) 法人など企業的な経営モデル（販売目標5,000万円）	39
【資料】東京農業の先進的・特徴的な事例集	41

(表紙絵)

伊藤若冲 (いとうじゃくちゅう) 「菜蟲譜 (さいちゅうふ)」
(重要文化財 佐野市立吉澤記念美術館 所蔵)

{	所在地	栃木県佐野市葛生東 1-14-30
	電話	0283-86-2008
	H P	http://www.city.sano.lg.jp/museum/